



蒲生高校だより

第7巻 第1号 (通巻19号)

発行日 平成20年7月18日

鹿児島県立蒲生高等学校



啐啄同時

校長 外園 修一

高校入試を突破した初々しい1年生149名を迎えて、平成20年度がスタートいたしました。ここ数年の少子化に伴い、本校でもその影響を受けて定員割れの状況にありましたが、師弟同行を合い言葉に健全な学校生活を送ろうと、全校生徒決意を新たにしています。

今ここに1学期が終わろうとしています。毎年のことながら月日の経つのが早く感じられます。二度と来ない高校生活、一つしかない命を考えた時、今を大事に生きることの大切さを、年を重ねるにつれ強く感じるようになりました。「子供は大人の姿を見て育つ」の名言にある通り、大人の時宜をとらえた適切なアドバイスが子供達の将来を左右すると言っても言い過ぎではないように思えます。「目標をもって学校生活を送っていますか。社会性をしっかり身につけていますか。当たり前のことを当たり前にできる人間に育っていますか」等の声かけをすることが、大きな成長につながっていくのではないのでしょうか。子供達もそのような温

かい励ましの言葉を期待しているかもしれません。

昔から言われている諺「啐啄同時(そったくどうじ)」が浮かびます。「啐」は鶏の卵がかえるとき殻の中で誰がつく音、「啄」は母親が殻をかみやぶること、つまりその瞬間を逃したら、またと得られ難い時機というものがあるということです。生徒、教師あるいは保護者の皆さんが意気投合して教え、育つ時がまさに今であるといえます。生徒それぞれに長所があり、それを引き出そうとあらゆる方策を立て、生徒

に問いかける日々ですが、この「啐啄同時」をなかなか理解してもらえないのが現実のようです。学習時間の確保、挨拶や服装など、どれをとっても簡単に実行できるものばかり。身近なことから生徒には取り組んで欲しいと思います。保護者や地域の皆様には的確な声掛けをお願いできればありがたいです。

今学校は、悲願であったハンドボール部インターハイ出場で盛り上がっています。これを機に、更に活気のある学校になるよう努めていく所存ですので、今後とも、見守りとご支援のほどよろしくお願いいたします。

平成20年度 新任の先生方

ようこそ 蒲生高等学校へ



〈1列目左側から〉

追立 薫〈商業〉
松下 吉文〈国語〉
外園 修一〈校長〉
愛甲 峰夫〈事務長〉
岩田 富男〈保健体育〉
前田 好弘〈事務〉

〈2列目左側から〉

伊藤 里香〈保健体育〉
瀬戸口綾佳〈英語〉
中村加奈子〈数学〉
後藤 健志〈商業〉
大津 寛史〈商業〉
内村 周平〈地歴公民〉
中野 佳子〈家庭〉

完全燃焼!

～栄光の足跡～

鹿児島県高等学校総合体育大会(5月)

ボクシング部

ミドル級 優勝 高吉直道(吉田北中)
ライト級 第3位 井之上拓也(山田中)
ハンドボール部 優勝

全校応援の後押し!

インターハイ(埼玉県開催)
(7/28~8/3)出場!!

今年で2度目となる全校応援。今年度は、生徒会・バレーボール部・バドミントン部を中心に、事前の応援練習も行いました。

大会当日、選手達は前日までの疲れもあってか、やや押され気味のムードでゲームが進んでいました。しかし、全校生徒が会場に到着し応援が始まると同時に、チーム本来の活気とパワーを取り戻したのです。最終試合は2年連続惜敗した鹿児島南高校が相手でした。両チームとも一歩も譲らない試合となりましたが、粘りと速攻で見事優勝を勝ち取り、創部8年目にして初のインターハイへの切符を手にする事ができました。その瞬間の響き渡る歓声は、まさに蒲生高校が一体となった瞬間でした。



インターハイまでの残された期間を、選手一人ひとりが悔いなく過ごし、埼玉でも素晴らしい試合となるよう頑張っていました。



感きわまってハイタッチ



川俣ゆかりさん
(重富中)

女子U-18第2回世界
ユース選手権大会出場!
(於スロバキア)

始良伊佐地区高等学校春季体育大会(5/8~9)

ハンドボール部 優勝
バドミントン部 女子団体3位
テニス部 男子ダブルス3位
(権藤航平・田上祐樹組)(帖佐中)

鹿屋市高校サッカーフェスティバル(5/3~5)

サッカー部 優勝

全国・九州地区高等学校ワープロ競技大会鹿児島県予選(6/1)

ワープロ部

速度の部 団体 第3位
(九州大会出場 16回連続出場)
個人 第5位 高木美穂(帖佐中)
(全国大会出場)
技能の部 団体 第4位
個人 西 美穂(重富中)
(九州大会出場)

平成20年度全九州高等学校体育大会(6/21~22)

ハンドボール部 第3位(2年連続3回目)

TopEye第148回
フォトサロン
フォトコンテスト

写真部

佳作入賞
奥 愛美(帖佐中)
『たくらみ』



生涯学習県民大学

9割の方が皆勤

堂 園 仁

今年も生涯学習県民大学パソコン初級講座を開講しました。上は83歳から下は41歳まで、平均年齢59.3歳の30名でスタートしました。6月3日から毎火曜と金曜の夕方6時30分から8時30分まで2時間、計10回の20時間行い、7月4日に閉講式を行いました。

閉講式では30名全員に卒業証書が

授与され、そのうち27名、実に9割の受講生が皆勤。普段なら仕事を終え、家に帰ってゆっくり過ごしている時間帯での受講、時には体調の悪い日や、仕事が大変なときもあったのではないかと思います。この皆勤ということについて、本校生も見習ってほしいと思います。社会人になると、簡単には仕事を休めません。毎日元気に会社に行くことが当然のことになります。高校は社会に出るための訓練の場でもあります。皆さんの両親、祖父母ぐらゐの年齢の方々が、1日の仕事を終えてから、生涯学習県民大学で勉学を頑張っているのです。皆さんも今から卒業まで、皆勤を目指して頑張りましょう。



生徒会発足

5月27日に生徒会役員候補の立会演説会と役員選挙が行われました。このために蒲生町選挙管理委員会から、投票箱と記載台3個ずつを借り受け、体育館に設置しました。生徒たちは珍しそうに触っていました。

そして、6月12日の生徒総会で次の役員が任命され、平成20年度新生徒会が正式に発足しました。



生徒会長	情報処理科2-2
	深見 裕介(帖佐中)
副会長	普通科2-2
	草薙 拓也(重富中)
副会長	普通科1-2
	福元 万貴(帖佐中)
書記	情報処理科1-1
	朝隈 恵莉(吉田南中)
会計	情報処理科1-2
	田畑 政則(帖佐中)
会計監査	情報処理科2-2
	亀澤 鮎美(帖佐中)
会計監査	普通科2-2
	盛永 理恵(重富中)

読書週間



朝読書

心に残る一冊



5月27日から6月6日まで、校内読書旬間の一環として朝読書を行いました。静かに本を楽しむ雰囲気、全校生徒が取り組むことができました。今年度から2週間にわたって実施しましたが、アンケートをとってみたところ、もっと長い期間、朝の読書をしたいという声が多くあがりました。皆さんにとって、活字に慣れ親しみ、本のおもしろさを改めて実感するよい機会になったのではないのでしょうか。

本には知識や想像力の素がたくさん詰まっています。何気なく手に取った本が、心に残る一冊になるかもしれません。二学期にも朝読書を実施する予定です。この夏休み、あなたの一冊を是非探してみてください。



2年生 【上野原縄文の森】

一日遠足

ココロとカラダを

リフレッシュ

1年生

【平川動物公園】



動物たちと「はい、チーズ」

5月2日(金)に、一日遠足が実施されました。よく晴れ、気持ち良い気候で、生徒たちも楽しい一日を過ごせたようです。

みんなが指示に従った!!感動!!



3年生

【いおワールド、本港区散策】

新生徒会長あいさつ

深見 裕介

明るく、元気良く、そして家族のような強い絆で、生徒全員が大好きだと言える学校作りを目標にして、一年間頑張っていきたいと思います。

ホームページもご覧ください

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kamo/>

鹿児島県始良郡蒲生町下久徳848-2

鹿児島県立蒲生高等学校

電話 0995-52-1155

FAX 0995-52-1161